



かなざきひさを応援する会 会報 50号 事務局 上山口 1878 番地の 9 Tel&Fax 878-7961 かなざきひさの携帯 090-4076-2425
E-Mail kanazakihi@jcom.home.ne.jp URL <http://members2.jcom.home.ne.jp/kanazakihi/>

葉山町議会平成 24 年第 4 回定例会が開催されました。

(期日平成 24 年 12 月 4 日～12 月 14 日)

○ 葉山町税条例の一部を改正する条例

- 東日本大震災後、制定された国の法律に基づき、各自治体の防災に要する財源確保のため、個人町民税の均等割を 500 円上乘せするもの。
- 平成 26 年度から 10 年間の措置。
- 葉山町の増税額合計は年間 790 万円で、10 年間では 7,900 万円が見込まれる。
- その利用計画は「防災行政無線のデジタル化事業の経費に充てる」とのことであった。
- しかし、この事業はすでに平成 24 年 6 月議会で決定しており（予算額 8,610 万円）、今回の増税額を当てにして計画されたものではない。
- 議会としては新たな事業計画を明らかにすべきとして、附帯決議を上げた。
- 平成 24 年度は、財源不足のため、各自主防災組織（町内会等）からの防災資機材購入費用の要望額が削減されている。
- 防災資機材の充実喫緊の課題である。
- 平成 26 年度からの 500 円の増税を各地域の防災資機材の充実に充て、防災意識の高揚に寄与すべきである。

議会は附帯決議に基づき、その用途をしっかりとチェックします。

○ かなざきひさの一般質問

(1) 町長マニフェストについて

山梨町長が誕生して一年、その間、町政運営を行っていく上で、マニフェストに実現不可能な部分が出てきており、修正が必要との答弁もありました。マニフェストにけじめをつけた上で、今後の町政運営の指針を伺うため質問をいたしました。

質問と提案	理事者側の答弁
町長選挙の際、配布された違反文書、冊子型マニフェストの制作費は「葉山の新しいリーダーを育てる会」が賄った、との答弁をいただいているが、その金額は。	支援団体がその費用をどのように支出したかは知らない。(町長)
県の選挙管理委員会が各政治団体の会計報告を公表しているが、見当たらない。町長はご自分のマニフェストとするのであれば、調べる必要があるのではないか。	会計報告に載せていないということを知った。個人の範疇でこれから調べていきたい。(町長)
議会での答弁の整合性を考えると、調査して報告すべきだが。	自分の好奇心の範疇で知っておくことは必要かな、と思っているが、公的な場でお答えするつもりはない。(町長)
マニフェストにある市町村設置型の補助金制度は断念せざるを得ないのか。	手段はともかく、水をきれいにするという目的のために合併浄化槽を導入するということは確実なものにしていきたい。精査の上、どのように変更するかを見極めてからマニフェストの表現を決めていきたい。(町長)

かなざきひさの考え 山梨町長が選挙の際に使ったマニフェスト関連の刷り物は人目をひく立派なものでした。山梨たかひと氏はそのマニフェストの上手な作り方で当選したといっても過言ではないと思っております。しかし、その製作費用、折り込み費用などが、選挙費用としてどこにも計上されていないのは不思議です。また、町長選挙告示日に山梨候補者が自身の責任で折り込みをして、警察から警告を受けたという違反の折り込み費用も、計上されていませんでした。山梨町長は会計報告にはルーズだと言わざるを得ません。

(2) 来年度予算の行財政改革について

来年度予算編成に向けて、提言をするため、質問に取り上げました。

質問と提案	理事者側の答弁
衛生費 13 億円の削減策は。	ごみの半減化の達成と、し尿投入施設の実現により、衛生費の削減に努める。 (町長)
25 年度中にごみを半減できるのか。	戸別収集の導入によりごみ量は確実に減ると考えている。 (町長)
戸別収集の全町実施はいつ頃の予定なのか。	実際に決定もしていない。 (町長)
一刻も早い半減化に向けて、資源ステーションの実施を 25 年度に先行させてはいかがか。	全町の戸別収集実施と合わせてやっていきたい。 (生活環境部長)
経費削減の意欲が感じられない。すでに 19 団体ある資源回収協力団体にミックスペーパー収集をお願いするだけで、委託費 500 万円が削減される。なぜそうしないのか。	集団回収として全町に行うのは難しい。 (生活環境部長)
容器包装プラスチックの分別を止めると、1,000 万円の削減ができる。容器包装リサイクル協会に加入する意味は。	コスト面のみでなく、ごみの安定的処理のため現状の形を継続していく。 (町長)
安定処理ができなくなった事例があるのか。	ない。 (生活環境部長)
公共下水道接続推進のための制度の見直しとは。	個々の制度の内容の一部見直しを検討している。 (生活環境部長)
開発された地域で新築の家がすでに建っている場所に公共下水道を敷設しても接続しないのが人情だ。工事個所は接続していただきやすい場所にすべきだ。	来年度予算の中で参考にし、検討する。 (生活環境部長)
市街化調整区域の合併浄化槽設置補助事業は 23 年度要望ゼロであった。25 年度、促進のための措置は。	アンケート及び住民の皆さんに理解していただけるような内容の広報を行っていきたい。 (生活環境部長)
葉山港が「海の駅」に指定された。町とのかかわりは。	国土交通省の指定で、町は港湾管理をしていないので、直接的かかわりはない。 (町長)
町の活性化のため、葉山港は大切である。町として、しょみんぱた等のイベントのサポートが必要と思うが。	担当の方から意見を伺った上で判断したい。 (町長)
南郷地区活性化事業の今後は。	今後も商工会の活動を支援し、この事業推進を図る。 (町長)
葉山ふるさとひろば実施補助金の今後について。	当初の目的は達成したと思うが、次の段階の向け、新たに発展させる可能性に期待している。 (町長)
<p>かなざきひさの考え 2 月 14 日から来年度予算を審査する定例会が開催されます。葉山町のかかえる最大の課題はごみ問題です。県内ワーストワンである経費の削減は喫緊の課題であり、25 年度予算に手をつけるべきと考えております。今回、そのための最後通達として、提案をしておりますので、この観点から、どのような予算を組み立てているのか、しっかりと点検をしたいと思っております。衛生費にかかわる経費の中で省けるものが多額にあります。限られた予算の中で町政運営をしなければなりませんので、無駄を省き、町民福祉の向上のため、そして、町活性化のための予算を厚くするべきであると思っております。</p>	

